

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
【部門区分】第1部門第2区分  
【発行日】平成30年2月15日(2018.2.15)

【公表番号】特表2017-538547(P2017-538547A)  
【公表日】平成29年12月28日(2017.12.28)  
【年通号数】公開・登録公報2017-050  
【出願番号】特願2017-533400(P2017-533400)  
【国際特許分類】

A 6 1 F 2/08 (2006.01)

【FI】

A 6 1 F 2/08

【手続補正書】

【提出日】平成29年11月22日(2017.11.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

内側部分、側方部分、側方端及び移行領域を有する修復布のパッチであって、前記内側部分は第1組織面に位置するように構成され、前記側方部分は、前記第1組織面からずれた第2組織面に位置するように構成され、前記移行領域は、前記第1組織面及び前記第2組織面の面を分離する組織及び/又は筋肉の開口部を通して位置するように構成される、修復布のパッチと、

前記パッチの展開を助ける、及び/又は、拡張した構成で前記パッチを保持するための、前記内側部分、前記側方部分及び前記移行領域に沿って配置された支持部材であって、当該支持部材は、前記パッチの前記移行領域に関連づけられた移行部分を備え、当該移行部分は、前記パッチの前記側方端から少なくとも2.5cm~少なくとも5.1cmに配置され、かつ、4.2cmを超えない外幅を有する、支持部材と、を備える、鼠径ヘルニアを改善するための埋め込み型プロテーゼ。

【請求項2】

前記支持部材の前記移行部分は2.5cm~4.0cmの外幅を有する、請求項1に記載の埋め込み型プロテーゼ。

【請求項3】

前記パッチの前記側方端から少なくとも2.5cm~少なくとも3.8cmに配置された前記移行部分の一部が、3.7cmを超えない外幅を有する、請求項1に記載の埋め込み型プロテーゼ。

【請求項4】

前記支持部材の前記移行部分の前記一部のが2.5cm~3.5cmの外幅を有する、請求項3に記載の埋め込み型プロテーゼ。

【請求項5】

前記移行領域が、前記パッチに沿って長手方向に延び、前記支持部材の前記移行部分が長手方向に2.5cmの長さを有する、請求項1に記載の埋め込み型プロテーゼ。

【請求項6】

前記移行部分が、前記パッチの前記側端から2.5cm~5.1cmにわたって延在する、請求項1に記載の埋め込み型プロテーゼ。

【請求項7】

前記側方部分が 0.04 psi ~ 0.09 psi の剛性を有する、請求項 6 に記載の埋め込み型プロテーゼ。

【請求項 8】

前記側方部分が 0.04 psi ~ 0.07 psi の剛性を有する、請求項 6 に記載の埋め込み型プロテーゼ。

【請求項 9】

前記移行部分が前記パッチの前記移行領域に相当する、請求項 1 に記載の埋め込み型プロテーゼ。

【請求項 10】

前記支持部材が前記パッチを実質的に包囲している、請求項 1 に記載の埋め込み型プロテーゼ。

【請求項 11】

前記支持部材が、その実質的部分に沿う凸状部分と、前記内側部分に沿って延在する凸状部分と、前記移行領域の少なくとも一部に沿って延在する一対の凹状部分と、を有する、請求項 10 に記載の埋め込み型プロテーゼ。

【請求項 12】

前記支持部材が、それらの間に中断部を形成するように離間した第 1 端部及び第 2 端部を有する、請求項 11 に記載の埋め込み型プロテーゼ。

【請求項 13】

前記パッチが、長軸及び短軸を有する長円形の構成を有する、請求項 12 に記載の埋め込み型プロテーゼ。

【請求項 14】

前記パッチが側端を有し、前記中断部が前記長軸の側端に配置される、請求項 13 に記載の埋め込み型プロテーゼ。

【請求項 15】

前記凹状部分が短軸と側端との間に配置される、請求項 14 に記載の埋め込み型プロテーゼ。

【請求項 16】

前記内側部分が前記側方部分よりも広い、請求項 13 に記載の埋め込み型プロテーゼ。

【請求項 17】

前記内側部分に沿った前記支持部材の一部が、前記支持部材の前記移行部分よりも大きい外幅を有する、請求項 1 に記載の埋め込み型プロテーゼ。

【請求項 18】

前記側方部分に沿った前記支持部材の一部が、前記支持部材の前記移行部分よりも小さい外側幅を有する、請求項 17 に記載の埋め込み型プロテーゼ。

【請求項 19】

内側部分と側方部分とを有する修復布のパッチを有し、前記内側部分は第 1 組織面に位置するように構成され、前記側方部分は、前記第 1 組織面からずれて組織及び / 又は筋肉によって分離される第 2 組織面に位置するように構成され、前記側方部分は 0.04 psi ~ 0.09 psi の剛性を有する、鼠径ヘルニアを改善するための埋め込み型プロテーゼ。

【請求項 20】

前記側方部分は 0.04 psi ~ 0.07 psi の剛性を有する、請求項 19 に記載の埋め込み型プロテーゼ。

【請求項 21】

前記パッチが、前記第 1 組織面及び前記第 2 組織面を分離する組織及び / 又は筋肉を通して延在するように構成された移行領域を有する、請求項 19 に記載の埋め込み型プロテーゼ。

【請求項 22】

前記パッチの展開を助ける、及び / 又は、拡張した構成で前記パッチを保持するために

、前記内側部分、前記側方部分及び前記移行領域に沿って配置された支持部材をさらに備える、請求項 2 1 に記載の埋め込み型プロテーゼ。

【請求項 2 3】

前記支持部材が、前記移行領域に関連づけられた前記パッチの一部に沿って延在する移行部分を有し、前記移行部分は 2 . 5 c m ~ 4 . 0 c m の外幅を有する、請求項 2 2 に記載の埋め込み型プロテーゼ。

【請求項 2 4】

前記支持部材の移行部分は 2 . 5 c m ~ 3 . 5 c m の外幅を有する、請求項 2 3 に記載の埋め込み型プロテーゼ。

【請求項 2 5】

前記移行領域が前記パッチに沿って長手方向に延在し、前記支持部材の前記移行部分が長手方向に 2 . 5 c m の長さを有する、請求項 2 3 に記載の埋め込み型プロテーゼ。

【請求項 2 6】

前記パッチが側端を有し、前記支持部材の前記移行部分が前記パッチの側端から少なくとも 2 . 5 c m に配置される、請求項 2 3 に記載の埋め込み型プロテーゼ。

【請求項 2 7】

前記移行部分が、前記パッチの側端から 2 . 5 c m ~ 5 . 1 c m にわたって延在している、請求項 2 6 に記載の埋め込み型プロテーゼ。

【請求項 2 8】

前記移行部分が前記パッチの前記移行領域に相当する、請求項 2 7 に記載の埋め込み型プロテーゼ。

【請求項 2 9】

前記支持部材が前記パッチを実質的に包囲している、請求項 2 7 に記載の埋め込み型プロテーゼ。

【請求項 3 0】

前記支持部材が、その実質的部分に沿う凸状部分と、前記内側部分に沿って延在する凸状部分と、前記移行領域の少なくとも一部に沿って延在する一対の凹状部分と、を有する、請求項 2 9 に記載の埋め込み型プロテーゼ。

【請求項 3 1】

前記支持部材が、それらの間に中断部を形成するように離間した第 1 端部及び第 2 端部を有する、請求項 3 0 に記載の埋め込み型プロテーゼ。

【請求項 3 2】

前記パッチが、長軸及び短軸を有する楕円形の構成を有する、請求項 3 1 に記載の埋め込み型プロテーゼ。

【請求項 3 3】

前記パッチが側端を有し、前記中断部が前記長軸の側端に位置している、請求項 3 2 に記載の埋め込み型プロテーゼ。

【請求項 3 4】

前記凹状部分が前記短軸と前記側端との間に配置される、請求項 3 3 に記載の埋め込み型プロテーゼ。

【請求項 3 5】

前記内側部分が前記側方部分よりも広い、請求項 3 2 に記載の埋め込み型プロテーゼ。